

九段坂病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	回復期リハビリテーション病棟における視覚誘導性運動錯覚治療が脳卒中 上肢麻痺の改善に及ぼす影響 (No. abcdefg)
当院の研究責任者 (所属)	小澤 弘幸 (リハビリテーション科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	脳卒中後の後遺症として、上肢麻痺に対する様々な治療法が考案されているが、重度麻痺に対する機能を向上させる治療法がないのが現状である。一方、視覚誘導性運動錯覚 (KINVIS) は視覚刺激により随意運動を伴わなくともあたかも自分が運動しているかのような感覚を誘導する手段であり上肢麻痺の治療法として臨床応用され始めている。本研究の目的は、回復期リハビリテーション病棟に入棟中の脳卒中上肢麻痺患者に対して、KINVIS治療を用いたリハビリテーションが上肢運動麻痺や日常生活動作の改善にどのような影響をおよぼすかを後方視的に検討することである。
調査データ 該当期間	2019年9月から2023年9月までの情報を調査対象とする (※研究全体の実施予定期間ではなく、研究として収集する調査データの期間です。 研究計画書のI. 研究計画等の概要 7. 実施期間②の期間と一致させる)
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さま 上記期間内に当院回復期リハビリテーション病棟に入棟され、脳卒中後上肢運動障害に対してKINVIS治療を用いたリハビリテーションが処方された方 ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用する (※利用または提供する試料・情報の一般的名称を指しており、例えば、血液、毛髪、唾液、検査データ、診療録記録等の名称を研究対象者に分かるように記載すること) 研究計画書の記載と不整合がないように注意してください。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はない (※多施設共同研究の場合で、共同研究先とイコールの場合にはその旨を記載) (※他の機関へ提供する場合にはその方法を含む。例；郵送、電子的配信等)
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	電話：03-3262-9191 (内線：2500) 担当者：九段坂病院 リハビリテーション科 担当者：小澤弘幸
備考	